

第5回富山県メンズフィジークオープン大会 第4回富山県ビキニフィットネスオープン大会 第1回富山県フィットモデルオープン大会 開催要項

日時	2022年8月14日(日) 開場11:00 開会式11:20 プレジャッジ12:00～
会場	富山県教育文化会館 富山市舟橋北町7番1号 TEL 076-441-8635
主催	富山県ボディビルフィットネス連盟
主管	富山県ボディビルフィットネス連盟
後援予定	(公社)日本ボディビルフィットネス連盟 富山県 北日本放送 富山テレビ放送 チューリップテレビ 北日本新聞
出場資格	2022年度日本ボディビルフィットネス連盟の選手登録を完了した者。 加盟ジム・同好会登録選手・個人登録選手・オープン登録選手 2) 2022年度が有効なアンチドーピング講習会の受講した者。 3)JBBFブロック選手権大会以上の優勝者を除く選手(過去5年に遡っての成績は対象外)
選手受付	10:00～選手登録証とアンチドーピング講習会受講のカードを提示の事 もしくはアンチドーピング講習オンデマンド受講完了証をスマホか紙にて提示
審査方法	日本ボディビルフィットネス連盟選手権大会実施規定に従って実施する。
選手出場費	5,000円(ダブルエントリーは10,000円) 振込手数料は本人負担
カテゴリー	メンズフィジーク ①168cm以下級 ②172cm以下級 ③176cm以下級 ④176cm超級 ⑤40歳以上級⑥50歳以上級 ※身長別と年齢別のダブルエントリーは認めます。 ※大会の前日に会場にて身長測定します。当日の受付を円滑にする為出来る限り前日に身長計測して下さい。 ビキニフィックス オーバーオール 階級無し フィットモデル オーバーオール 階級無し ※ビキニフィットネスとフィットモデルのダブルエントリーは認めます。
申込方法	web登録の上一週間以内に振り込みの事(にいかわ信用金庫 本店営業部 普通 富山県ボディビル連盟 0350547) web申し込み出来ない方は加盟ジム代表者を通じて申し込みして下さい。
申込先	富山県連盟のホームページの申し込みフォームから申し込みして下さい。 〒937-0866 魚津市本町1-10-63 富山県ボディビルフィットネス連盟事務局 水尾 仲秀 TEL 090-4687-0256
申込締切	2022年7月14日(木)必着
表彰	メンズフィジークの部1位～6位・フィットネスビキニの部1位～6位・フィットモデルの部1位～6位
ゲスト	五味原 領 (2021クラシックフィジーク選手権1位)
チケット (パンフレット付)	2,000円ローソンチケットにて販売 小中学生無料 8月14日(日)PM3時まで販売
注意事項	1)ボディカラーはJBB指定のカラーリングサロン、JBBF推奨のタンニングローションのみ使用が認められる。 カラーリング違反(以下)は厳正に対処し失格とする場合がある。 ①JBBF推奨品以外のカラーを使用した場合。 ②大会当日の使用、色落ちした場合 ③JBBF指定のカラーリングサロンの証明書を持参しなかった場合。 2)メンズフィジークは裸足にボダーパンツ着用(すべてのラウンド共通) 履物・腕時計・指輪(結婚指輪は除く)・腕輪・ペンダント・メガネ等・外観上の美観を助ける物を 身に着けてはならない。選手控え室で身体及び専用ウェアのチェックを行う。 3)ビキニフィットネス・フィットモデルのコスチューム・シューズ・アクセサリ類については、JBBF HPの 選手権大会実地規定並びに競技ルールの項を参照して下さい。 パフォーマンス中にビキニで覆うべき部分が露出した選手は、審査委員長がパフォーマンスを 中止させ、失格または減点とする。 ※ビキニはへそから下の部分は40%覆って下さい。 競技に必要なとされるメイクやヘアーセット用の物は、大会係員の許可を得てから持ち込む事 選手控え室で身体及び着用ウェアのチェックを行う。 4)ボディビルとメンズフィジーク、女子フィジークとビキニフィットネス・フィットモデルのダブルエントリーは認めない。 5)ビデオ撮影は無料 ※三脚の使用は周りの方の迷惑にならない様ご配慮下さい。 6)大会出場費の入金されない場合は、出場はできません。 7)貴重品等は自分で管理の事 パンプアップ用品はプッシュアップバーとチューブのみ(金属製の物は禁止) パンプアップ用品は、必ず口の閉まるバック袋等に入れ管理のこと 会場を破損する恐れのある行為は厳禁(チューブを会場内の物に掛けて引く。会場内でのチンニング等) 8)大会当日受付に選手体調調査表を紙ベースで提出の事
イレズミ	日本連盟規定に基づき、小さなイレズミ(5cm以内一ヶ所のみ)の場合は隠す事が出来れば出場可能。 それ以上大きいイレズミは出場不可。出場申込書にイレズミの有無について記入して頂き、無と記入し イレズミが身体のごく一部分の場合に限り、当確部分を包帯・絆創膏・サポーター等により完全に隠すことが 出来れば出場可能とする。しかし隠れた部分は採点は出来ない為、減点要因になる